



2009 年度第 8 号



やまなみ

サンフランシスコ日本語補習校
理事会通信

2010 年 1 月 9 日

理事長からの年頭の挨拶

(小西理事長)

新春の候、新年のお慶びを申し上げます。旧年中は、当校創立 40 周年記念行事の開催も含め、保護者の皆様には多大な御協力を頂き誠に有り難うございました。豚インフルエンザや



経済危機などで先行きが心配されるスタートではありましたが、御陰様で無事に新年を迎えることができ深く感謝申し上げます。休暇中は、ご家族で楽しいひと時を御過ごしになられましたでしょうか？

今年は、21 世紀初の寅年です。寅の勢いにあやかり理事会としましても当校の更なる前進に努めて参りたいと存じます。昨年 4 月にスタートしました 2009 年度理事会の任期も残すところ 3 ヶ月を切りました。今年度の理事会のメンバーには、通常理事会、臨時理事会に加え、40 周年記念行事実行委員会やめざす補習校像検討委員会、各常設委員会や臨時委員会など、積極的な活動を通して精一杯御尽力頂いております。この場を御借りしましてこれまでの主な活動報告をさせて頂きたいと思っております。

まず、浅尾一郎委員長のリーダーシップのもとに元理事と現理事で構成された 40 周年記念行事実行委員会の企画、運営により、ハッピーフライト映画上映会、シンポジウムの開催とメインイベントの挙行を実現して頂きました。委員会のメンバーの方々には現在も引き続きご活躍頂いております。

当校の運営面におきましては、植木進策校長先生のご助言のもとに、高等部入試規定の見直しを行い、入学や途中入学、転入／編入などの定義づけ、手続き方法、スケジュールを明確にし、入試規定の充実化を図りました。新規定は、平成 22 年度の入学手続きから使用されることとなります。これによりベイエリア内外の他校からの応募も容易になり、平素より植木校長先生が強調されている「当校のフラッグシップ」としての高等部が更に力強く下級生を引っ張る牽引力となることを期待しております。

2008 年度から開始されました幼稚部に関しては、西郷リベカ理事のリーダーシップのもとに年間継続したプログラムに変更しました。これにより他の学年と

同様に一貫した教育を行うことが可能になります。安全面においては、植木校長先生のご指導とご尽力により、当校の安全を更に確保するために日本政府の補助金を頂きセキュリティカードの試行に入りました。保護者の皆様の御理解と御協力により比較的スムーズにご利用頂いているようです。引き続き御協力の程宜しくお願い致します。

昨年 8 月に 40 周年記念行事実行委員会により開催されましたシンポジウム「補習校の将来をみんなで考えよう」でご提案、ご提言頂きました多くの内容を更に調査、検討するために、理事会では、「めざす補習校像検討委員会」を設置しました。委員長である松波博之理事のリーダーシップのもとに、委員会では数々の会議を重ね、更に教員や保護者の皆様にアンケートをとらせて頂きました。これらのフィードバックをまとめ、理事会に答申を頂くことになっております。

賀川正人副理事長のリーダーシップのもと理事会ではウェブサイト再構築を進めております。今やオンラインですべてを検索する時代であり、保護者の皆様や在校生、卒業生、教員、また地元地域の協力支援者など多くの当校関係者をはじめ、将来当校に入学、転編入を考えていらっしゃるご家庭にとっても利用し易く、当校の教育理念と基本方針に沿った当校のアイデンティティを明確に提示できるウェブサイトの構築を進めております。ご期待ください。

法規面では、松波博之法規委員長を中心に当校のホームページ運営規則の改訂を行いました。更に、本来、定款に含まれているべき当校の運営細則や選挙細則を統合し現行のカリフォルニア州法を遵守した定款の改訂も同時に試みております。

また、当校の英語名が当校の前身である「サンフランシスコ日本語教室」の直訳のままであり、世界第二の規模を持つ補習授業校という現状にそぐわないことから英語名の変更も手がけております。

更に 2010 年度の予算案の審議も開始し、経済危機のあおりを受けた当校の借料の値上がりへの対応なども含め経営面の安定化を図るために努力しております。

これら以外にも検討を進めている議題が多くございますが、追って皆様にご報告させていただきます。本年

も引き続き皆様の御協力と御支援を頂けますよう宜しくお願い申し上げます。

第7回理事会 (西郷理事)

昨年12月10日(木)午後5時20分よりサンタクララのNEC会議室にて、小川康弘領事、植木校長先生、小西理事長と10人の理事、青柳事務総長、岩田事務長が参加して、第7回理事会が開かれました。

植木校長先生による学事報告、三宅保護者会代表会長からSF・SJ両校の保護者会活動について報告があった後、ホームページ運営規則の改定、定款の改定案、2010年度予算案、幼稚部年間スケジュールについて、放課後クラブ運営規定の一部修正、サンフランシスコ日本語補習校英語名変更について、理事会主催の茶話会について審議されました。また、めざす補習校像検討委員会活動やW.E.B.2009進捗とデータリリースについて報告がありました。

「めざす補習校像検討委員会」活動状況報告

(松波理事)

委員会では、めざす補習校像の検討を進めていく上で幅広く保護者の意見を汲み取る事が重要であると考え、11/19(木)～12/13(日)の期間、Web形式で「保護者アンケート」を実施し、以下の項目を中心にご意見を伺いました。

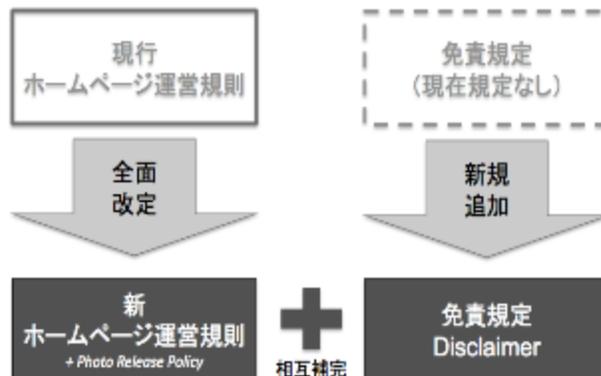
- ・お子様が通っている学校区、学年
- ・在米期間予定
- ・補習校に求めているもの
- ・補習校運営に関する満足度
- ・安全性について
- ・日本語能力差の拡大について
- ・少人数制について
- ・学級経営案について

今回、お忙しいスケジュールの合間を縫って368名(44%)の皆様から回答を頂く事ができましたこと、大変感謝しております。上記項目以外にも、多くの方から普段補習校について思っている点、改善できる事などについて貴重なアイデアを頂く事ができました。今回のアンケート結果から、在米期間の違いによる「補習校に求めているもの」や「日本語能力差の拡大」に関する認識度の違いなどがより具体的に見えてきました。現在、委員会にて、先に実施した「教員アンケート」結果と合わせ分析作業を進めているところです。アンケート結果につきましては委員会からの最終答申と併せて2月後半にご報告させて頂く予定です。重ねて多くの方々からご協力頂きました事、お礼申し上げます。委員会の活動に関して、ご意見、ご質問等ございましたら、電子メールで随時受け付けておりま

す(SFJLC.Vision@gmail.com)。

補習校ホームページ運営規則全面改定のお知らせ (松波理事)

やまなみ第3号(6/6)でお伝えしましたように、今年度の法規委員会活動テーマの一つとして、本校ウェブサイトの活性化を目的にホームページ運営規則(以下、運営規則)の強化、見直しを取り上げました。また、やまなみ第4号(9/15)にて賀川副理事長からW.E.B.2009(Web Enhancement Board)プロジェクトの紹介がありました。同プロジェクトと連携し、「ホームページは補習校から社会に開かれた窓」をコンセプトに、この窓を通じて保護者・社会からの信頼を得ると共に、学校運営への一層の協力と参加を促す事を狙いとして、運営規則の見直し作業を法規委員会にて進めて参りました。この度第7回理事会(12/10)で、運営規則の全面改定並びに来年度4/1からの施行が承認されましたのでお知らせ致します。



改定のポイント

- ・ホームページの目的
- ・運営管理責任の明確化
- ・コンテンツの公開/削除手続き
- ・コンテンツ作成指針
- ・個人情報保護
- ・写真の取り扱いガイドライン

図1. 改定のポイント

今回の改定のポイントは、以下の3つです。(図1参照)

- ① 現在の運営規則を全面改定し、「管理責任」「コンテンツ作成、公開、削除手続き」等の明確化により、より効率的かつタイムリーな情報提供を実現
- ② 「免責規定」を新規追加することにより、外部からの万一の訴訟に対する備えを強化
- ③ 個人情報や写真の取り扱いガイドラインを明確化する事により、ホームページ上での子供たちの写真掲載の可能性を実現

特に保護者の皆様に直接関係するものとしては、以下の2点があります。

- A) ホームページ上に新たな記事掲載を希望される保護者は、保護者会の承認を得た後、当該記事の掲載を事務局に申請することが出来るようになりました。当然のことながら記事は補習校に関係するものに限られますが、本校の魅力を幅広く伝えるものなどございましたら、所定の手続きを経てコンテンツ提供して下さい。
- B) 学校の様子や活動内容を子供たちの生き生きとした表情と共にお伝えすべく、ホームページ上の写真掲載を可能と致しました。勿論、安全性の確保、個人情報保護については最大限の配慮を行うようガイドラインを設けました。また写真掲載の同意書(Photo Release Policy)を入学時に確認し、同意しない旨届け出があった幼児・児童・生徒の写真は掲載しない(または、顔をぼかすなどの処置を行う)ことを明確化しました。来年度は本施行の初年度ですので年度始めに全家庭に配布し、写真掲載に同意しない方を確認させて頂く予定です。更に、同意された方につきましても、写真掲載後削除要請があった場合には、速やかに当該写真の削除を行う等適正な対応をするよう運営規則を改定しました。

主旨をご理解の上、本校ウェブサイトの活性化に引き続きご支援、ご協力頂きますようお願い致します。改定内容の詳細につきましては、以下のページ(<http://www.sfjlc.org/menu/menu-gaiyo.htm>)を参照願います。

理事会活動記録

(久保田理事)

11月	13日	第6回めざす補習校像検討委員会 (以下めざす委員会)電話会議
	19日	法規委員会電話会議 保護者アンケート開始
	24日	第6回人事委員会
	30日	第14回WEB2009プロジェクト会議
12月	5日	第5回めざす委員会ミーティング
	7日	第15回WEB2009プロジェクト会議
	10日	第7回理事会
	12日	第6回めざす委員会ミーティング
	13日	保護者アンケート終了
	14日	第16回WEB2009プロジェクト会議
	15日	第7回めざす委員会電話会議
	21日	第8回めざす委員会電話会議

借用校訪問

12月2日および9日にサンノゼ校の借用校、10日にサンフランシスコ校の借用校を校長先生、教頭先生、主幹、事務総長、両校保護者会会長が訪問し、各校において平成22年4月から集中学習前までの契約

を済ませました。この訪問は恒例のホリデーシーズン挨拶も兼ねており、補習校から借用校校長先生及びスタッフへのギフトを手渡し感謝の意を表しました。

事務局よりお知らせ

1月、2月の主な行事予定

月	日	行事予定
1	9	小学部新入生面接(小SJ校)
	16	小学部新入生面接(両小学校) 高等部入学願書締切
	23	幼稚部新入生面接(両小学校)
	30	幼稚部新入生面接(小SJ校)
2	20	後期期末テスト(中高部)
	27	総会(小SJ校)

平成22年度新1年生の入学受付について

平成22(2010)年4月から小学部1年生に入学を希望する児童についての入学願書受付を受け付けております。入学を申し込まれる方は、当校ホームページ(www.sfjlc.org)をご覧になり、必要書類を事務局までお送りください。

【出願資格】

保護者が当地での職務に派遣される者、または、理事会が承認する者で、将来日本の学校に入学・編入しようとする計画を持っている者のうち、平成15年(2003年)4月2日から平成16年(2004年)4月1日までに出生した児童に限ります。

【入学申し込み方法】

入学申込書、入学前健康調査票、出生を証明できる書類(パスポートのコピー等)を本校事務局までご送付ください。必要フォームは本校ホームページ(<http://sfjlc.org>)にてダウンロードしていただけます。

「やまなみ」はサンフランシスコ日本語補習校理事会により月1回発行されます。
発行人:小西光洋
San Francisco Japanese Language Class, Inc.
760 Market Street, #816, San Francisco, CA94102
電話: 415-989-4535 FAX: 415-989-2542
電子メール: 理事会・事務局 office@sfjlc.com、学校 sfjlc@msn.com
ホームページ: <http://sfjlc.org>
理事会および学校事務局へのご意見・ご質問等を歓迎します。匿名でのお問い合わせ等には一切お答えいたしかねます。
無断複製・転載を禁ずる。©2010 All rights reserved.